

BASN LEARNING & PRACTICE ANNUAL REPORT 2025

編集発行 公益財団法人 福武財団
〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7

発行 2026年7月24日



**BASN
LEARNING &
PRACTICE
ANNUAL
REPORT 2025**

公益財団法人 福武財団

2026.7.24

INDEX

BASN周遊ツアー実績	03
地元連携	05
自主企画	13
BASN対話型鑑賞フォーラム	15
2025年度 教育プログラム アンケートデータ	16
2025年度 教育プログラム 問い合わせデータ	17
2025年度 教育プログラム 実績データ	18

過去のプログラム事例は
こちらよりご参照ください。

noteアカウント
BASN Learning & Practice



ご挨拶

2025年度は、学校・社会人案件ともに件数が伸び、少しずつアートによる学びの市場も広がりにつつあるように思います。

特にビジネスパーソンの中でニーズが高くなっている現状を受け、今年度は企業研修をテーマに、フォーラムの開催や、プログラム紹介用の冊子制作等に取り組みました。

ベネッセアートサイト直島の対話型鑑賞のファシリテーターの輪も、学校現場、企業、美術館など様々な分野に広がり、200名を超えました。今後はファシリテーター同士が繋がることのできるネットワークの活動にも注力していきたいと思っています。

これまでに引き続き、様々な募集型・受注プログラムを実践していますので、各事例をご参照いただけますと幸いです。

BASN Learning & Practice
コンセプトブック



ストーリーブック



BASN 周遊ツアー実績

	直島鑑賞ツアー（日帰り）
概要	直島の各アート施設をガイド付きで鑑賞するツアー
募集日程	火曜、木曜
料金	大人おひとり：18,000 円 / 15 歳以下おひとり：10,000 円（～2026 年 2 月） 大人おひとり：20,000 円 / 15 歳以下おひとり：12,000 円（2026 年 3 月～）
実績	21 日催行、80 名参加

	ベネッセハウスに泊まる直島鑑賞ツアー（宿泊）
概要	直島の各アート施設をガイド付きで鑑賞するツアー
募集日程	木曜：7 月～9 月 ※7 月 23 日のみ水曜日
料金	大人おひとり：60,000～102,000 円 15 歳以下おひとり：54,000～96,000 円
実績	13 日催行、41 名参加

	豊島・犬島鑑賞ツアー（日帰り）
概要	豊島・犬島の各アート施設をガイド付きで鑑賞するツアー
募集日程	4 月～11 月：金曜 3 月：水曜、金曜 ※犬島の施設が休館のため、12 月～2 月は開催なし
料金	大人おひとり：19,000 円 / 15 歳以下おひとり：13,000 円（～2025 年 11 月） 大人おひとり：20,000 円 / 15 歳以下おひとり：14,000 円（2026 年 3 月～）
実績	14 日催行、46 名参加

	豊島鑑賞ツアー（日帰り）
概要	豊島の各アート施設をガイド付きで鑑賞するツアー
募集日程	1 月～2 月：金曜
料金	大人おひとり：15,000 円 15 歳以下おひとり：10,000 円
実績	2 日催行、2 名参加

	直島建築ツアー
概要	代表的な直島の公共建築をガイド付きで鑑賞するツアー
募集日程	2025 年 5 月 12 日（月）、19 日（月）、10 月 6 日（月）、14 日（火）、20 日（月）、27 日（月）
料金	おひとり：3,000 円（大人・小人同額）
実績	6 日催行、47 名参加

	ベネッセアートサイト直島 企業向け特別モニターツアー
概要	アートプロジェクトの体験により対話や内省を深めることで、参加者の皆様に新たな視点や気づきを得ていただけるよう設計された 1 泊 2 日のツアー
募集日程	2025 年 12 月 11 日（木）・12 月 18 日（木）
料金	おひとり：86,000 円（15 歳以下参加不可）
実績	催行なし

	豊島美術館の建築から辿る 島の自然と人 ベネッセアートサイト直島 バックグラウンドツアー Vol.5
概要	ベネッセアートサイト直島バックグラウンドツアーの企画として、豊島美術館開館 15 周年を記念し、美術館誕生の秘話や島の方々との交流などを通し、豊島を五感で楽しんでいただくツアー
募集日程	2025 年 11 月 16 日（日）、11 月 17 日（月）、11 月 25 日（火）
料金	おひとり：22,000 円（15 歳以下は参加不可）
実績	2 日催行、7 名参加

	犬島の過去から未来を考える ～石切り場から犬島 ぐらしの植物園まで～ ベネッセアートサイト直島 バックグラウンドツアー Vol.6
概要	犬島のアート施設や歴史に関連する場所を巡り、未来の環境と関係に想いを馳せる体験型のツアー
募集日程	2026 年 3 月 14 日（土）、3 月 28 日（土）
料金	おひとり：16,000 円（15 歳以下参加不可）
実績	2 日催行、11 名参加

地元連携：直島

直島小学校 6 年生	
日時	2025 年 4 月 21 日 (月) 13:00～14:30
人数	16 名 (児童 14 名、先生 2 名)
テーマ	作品を自分なりに味わい、感じたことを言語化する
内容	ベネッセハウス ミュージアム屋外作品鑑賞。最初に対話型鑑賞を実施。その後好きな作品を 1 つ選びスケッチし、タイトルをつけるワークに取り組んだ。



直島小学校 5 年生	
日時	2025 年 4 月 22 日 (火) 13:00～15:00
人数	18 名 (児童 15 名、先生 3 名)
テーマ	環境学習 (豊島)
内容	午前中は産廃処分地跡を見学。午後からは豊島美術館の鑑賞と棚田散策を実施。



直島小学校 6 年生	
日時	2025 年 6 月 23 日 (月) 9:00～11:00 ※事後学習：2025 年 6 月 30 日 (月) 9:35～10:20
人数	18 名 (児童 15 名、先生 3 名)
テーマ	作品を自分なりに見てみよう
内容	李禹煥美術館で対話型鑑賞。タブレットを使って写真を撮影し、その場所を選んだ理由とともに発表。



直島中学校 2 年生	
日時	2025 年 6 月 9 日 (月) 13:30～15:30
人数	17 名 (生徒 14 名、先生 3 名)
テーマ	作品の制作プロセスを体験する
内容	地中美術館にて、ジェームズ・タレルの光を扱った作品に注目し、制作ワークショップを実施。



地元連携：直島

直島小学校 4 年生

ふるさと学習

テーマ：作品鑑賞を通じて本村の暮らしに気づく



家プロジェクトを鑑賞①自分なりの視点で作品を鑑賞しよう	
日時	2025 年 4 月 21 日 (月) 8:45～11:00
人数	20 名 (児童 18 名、先生 2 名)
内容	本村にある家プロジェクトにて、気づいたことや考えたことをワークシートに記入しながら自由に鑑賞。

家プロジェクトを鑑賞②ガイドを聞きながら作品を見てみよう	
日時	2025 年 12 月 22 日 (月) 10:30～12:00
人数	17 名 (児童 15 名、先生 2 名)
内容	株式会社直島文化村の猪原さんのアテンドで本村地区の作品を鑑賞。作品制作時のエピソードなどもお話いただいた。

家プロジェクトを鑑賞③ガイドを聞きながら作品を見てみよう	
日時	2026 年 3 月 19 日 (木) 11:00～11:30
内容	本村にある作品を紹介するパンフレットを作成。宮浦港にてお客様に配布。

直島小学校全学年連携

直島小学校1年生	
日時	2025年12月8日(月)9:00～10:00
人数	25名(児童23名、先生2名)
テーマ	美術館を探検してみよう
内容	ベネッセハウスミュージアムにて、3班に分かれて作品を自由に鑑賞。最後に印象に残った作品を発表。

直島小学校2年生	
日時	2025年12月10日(水)9:00～10:00
人数	16名(児童14名、先生2名)
テーマ	作品をじっくり鑑賞してみよう
内容	地中美術館を2班に分かれて鑑賞。気づいたことや感じたことをワークシートに記入。

直島小学校3年生	
日時	2025年12月19日(金)8:45～10:00
人数	28名(児童26名、先生2名)
テーマ	作品に出てくる人物について想像してみよう
内容	直島新美術館にて4班に分かれて主にG1の作品を鑑賞。作品に描かれている登場人物の特徴やセリフを想像するワークを実施。

直島小学校4年生	
日時	2025年6月3日(火)9:00～10:00
人数	21名(児童19名、先生2名)
テーマ	対話しながら作品を鑑賞してみよう
内容	ベネッセハウスミュージアムにて、2班に分かれて対話型鑑賞を実施。

直島小学校5年生	
日時	2026年1月27日(火)
人数	19名(児童17名、先生2名)
テーマ	建築について考えよう～地中ってどんなイメージ?～
内容	地中美術館を2班に分かれて鑑賞。キッズツールを使用し、建築にも注目しながら鑑賞。

直島小学校6年生	
日時	2026年1月30日(金)9:00～10:00
人数	15名(児童14名、先生1名)
テーマ	作品に描かれていない部分を想像してみよう
内容	作品を観察した後、作品の世界と自分が生きている世界との共通点・違い、作品の世界が今後どうなりそうかを考える。



地元連携：直島

直島小学校6年生

総合学習

テーマ：自己理解と自己肯定感の醸成、自分らしさを活かせる将来ビジョンを描く

4月
5月

1 思考力と表現力を養い、自己理解を深めよう(11コマ)

内容 対話型鑑賞5回(鑑賞+自己について深めるリフレクション)

ねらい・思ったことを言いやすいマインド、思ったことを言語化する力を養う
・他の人の意見も尊重する/共感力
・自分の個性や強みに気づく

6月

2 自分の探究テーマを設定しよう(6コマ)

内容 鑑賞を振り返り、自分らしいと気づいたこと/関心があることを言語化

7～1月

関心ごとのグループに分かれて制作活動(約40コマ)

2～3月

グループごとの成果発表

地元連携：直島

直島小学校6年生

総合学習

テーマ：自己理解と自己肯定感の醸成、自分らしさを活かせる将来ビジョンを描く



直島町立直島小学校
大谷拓美 先生

本校では、ふるさと教育を推進しており、生活科や総合的な学習の時間を中心に地域の特色を活かしたふるさと学習を進めています。特に福武財団との地域連携では、4年生は家プロジェクトを中心に調べ、学習を進めています。その中で、子どもたちは、地元直島が誇る現代アートに触れるとともに、昔ながらの町並みや既存の建物を活用した作品から昔の生活に思いをはせることで、地域への誇りを感じています。そんな直島の魅力を多くの人に発信するために、学校行事「Meet the World」で、5年生は外国から来られた方々に家プロジェクトについて英語で紹介する機会を設けています。

また、6年生は総合的な学習の時間に、福武財団の方のファシリ

テートのもと、李禹煥美術館やベネッセハウスミュージアム含め、複数回にわたって対話型作品鑑賞を行いました。子どもたちは友だちと感じたことを伝え合う中で、自分の強みや関心などの個性に気づき、それらを活かした学校や地域への働きかけを行っています。地域社会へと関わる経験は、これからの直島とどう関わり、どのような将来を歩んでいくか考えるきっかけになっています。

本校では、福武財団や地域の方と連携することで、子どもたち一人一人がふるさとへの愛着と誇りをもち、進展するグローバル化の流れの中でも、自信をもって自らの力で人生を切り拓く力を身に付けることを目指しています。

地元連携：豊島

土庄町立豊島小学校1, 2年生

日時	2025年12月3日(水) 10:30~11:20
人数	8名(1年生3名+2年生3名、先生2名)
テーマ	地域学習
内容	作品の特徴でもあるコラージュの手法をつかって平面作品を制作するワークショップ。

土庄町立豊島小学校3, 4年生

日時	2025年12月4日(木) 10:50~11:50
人数	7名(3年生4名+4年生2名、先生1名)
テーマ	総合的な学習
内容	心臓音のアーカイブにて、作品鑑賞から人間の固有性や「生きていることについて」考える。自分自身の心臓音も録音し、作品に参加。

土庄町立豊島小学校5, 6年生

日時	2025年12月5日(金) 11:10~12:10
人数	9名(5年生1名+6年生6名、先生2名)
テーマ	総合的な学習
内容	豊島美術館のアートのスペースを紙で自分なりに作り、光の入り方や空間を考えるワークショップ。



地元連携：豊島

豊島中学校

ふるさと学習の軌跡

テーマ：アートと地域の繋がりを感じ、地域の豊かさや魅力を発見する

土庄町立豊島中学校 1～3年生	
日時	6/2, 6/6, 9/5, 9/17, 9/30, 10/8, 10/16, 10/21, 11/17 （計13コマ）
人数	9名（1年生2名、2年生3名、3年生4名）
内容	自分の興味関心に気づいたり、自由に表現できる環境を作るため、最初に対話型鑑賞を実施。（2コマ）その後、3つのプログラムの中から取り組みたいものを各自選択して取り組んだ。
プログラム	①自分の大切な思い出をテーマにコラージュしてみよう ②豊島美術館でガイドをやってみよう ③豊島ガイドマップを作って、お客様に案内してみよう



土庄町立豊島中学校
教務主任 前田研吾 先生

豊島には常時、多くの芸術作品が展示されています。豊島中学校の生徒たちは、日頃からそのような作品に囲まれた環境で生活していますが、そのような彼らでも、現代アート作品を通して豊島を見つめたり、豊島を訪れる人々と触れ合ったりする機会は多くありません。

今回、大きく3つのプログラムを体験させていただきました。「豊島横尾館とコラボしたコラージュ制作」、「豊島美術館でのガイド体験」、「豊島のガイドマップ作りと観光案内」です。各プログラムはい

ずれも、豊島にあるアート作品や美術館を改めて訪れ、まずは自分なりにアートへの思いを自由に表現することから始めました。そのような体験を通じて、豊島の魅力や歴史への理解を深め、最終的にそこで培った感性を外へ向けて発信する活動ができたと感じています。

普段の学校生活では見られない生徒たちの一面も見ることができ、大変貴重な経験をさせていただいたと感じます。

地元連携：犬島

山南学園 4年生	
日時	2025年6月12日（木）9:15～14:50
人数	51名（児童46名、先生5名）
テーマ	犬島の自然や歴史を新発見する
内容	犬島を歩いて一周しながら犬島の自然や歴史を考える。

山南学園 6年生	
日時	2025年10月2日（木）9:10～11:45
人数	45名（児童41名、先生4名）
テーマ	犬島の石について知ろう
内容	犬島の採石に関する場所を訪れ、犬島の石の特徴や歴史、人々の思いを理解し地域の一員として大切に受け継いでいく思いを育む。

岡山市立山南学園
4年団 大倉浩平 先生、伊藤真人 先生

本校4年生が、総合的な学習の時間で犬島について学習しています。学習するにあたり、「犬島はどんな場所なのか」「犬島では何が有名なのか」等、自分たちで調べ学習を進めました。また、講師として、在本桂子さんをお招きし、犬島での生活や今と昔の違いについてお話をしていただきました。その後、事前に学習した内容、犬島の魅力を見つけるために現地を訪れました。犬島の自然、アート等、学校では体感することのできない学びをすることができました。雨の中の体験でしたが、子どもたちは笑顔いっぱいでした。海岸沿いの探検では、

本プログラムを通じて、アートが単なる鑑賞の対象ではなく、地域や自然、そして「よく生きる」という問いと深く結びついていることを実感しました。特に、直島や豊島での地元連携プログラムや対話型鑑賞では、作品を介して他者と言葉を交わすことで、多角的な視点や深い洞察を得る貴重な機会となりました。参加者一人ひとりが自身の感性を開き、島の日常や歴史に触れる体験は、教科書だけでは得ら

れない生きた学びであったと感じています。今後の展望として、本プログラムで養った「観察する力」や「対話のスキル」を、日常生活や地域社会でのコミュニケーションに活かしていきたいと考えています。さらに、地域の一員として、学区の魅力を発信できるように次年度につなげていきたいと考えます。

Benesse Art Site Naoshima



地元連携：犬島

山南学園9年生	
日時	2025年5月29日(木) 10:00～15:00
人数	90名(山南学園生徒51名+培英国民中学30名、先生9名)
テーマ	犬島の魅力を探す
内容	新竹市立培英国民中学(台湾)の生徒と一緒に犬島を訪れ、本校生徒が英語でガイドをしながら犬島の魅力を伝えたり発見したりした。ミッションをクリアしながら犬島にあるアートや自然を通じて交流した。

山南学園9年生	
日時	2025年10月3日(金) 9:10～14:30
人数	65名(生徒58名、先生7名)
テーマ	山南の魅力を守る
内容	犬島内の神社を調査したり、どんなボランティア活動があるとよいか、観光客の方々に山南の魅力をどのようにして伝えると有効なのか、グループごとに調査した結果を犬島内で来島されたゲストを対象に発表。

自主企画

「14歳アートフェスin直島：自分を知る旅」

開催日	2025年7月26日(土)・8月5日(火)
時間	9時45分～12時30分 13時30分～16時15分
対象	中学2・3年生
場所	ベネッセハウス ミュージアム(直島)
参加者数	合計19名(平均4.7名/回)
申込者の居住地	計27名

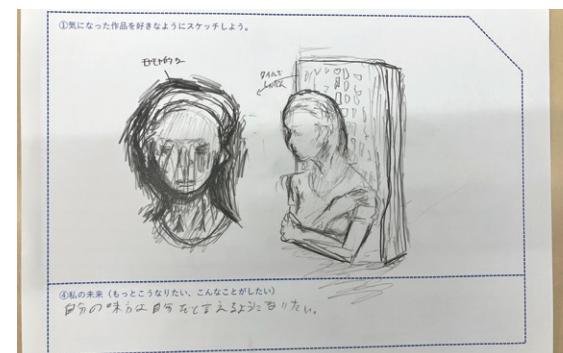
岡山	10名
香川	3名
広島・兵庫・大阪・京都	各2名
鳥取・東京・埼玉・静岡・千葉・滋賀	各1名

タイムスケジュール

時間	内容
0:00	自己紹介
0:25	3作品で対話型鑑賞
1:25	自由鑑賞+個人でワークシート取り組み
1:55	ワークシート発表
2:25	振り返り・交流
2:45	終了

参加者からのコメント

- ・自分の中の経験や知識をもとに、アート作品を見て周りの人たちに思いを伝えることが、初めて会った人にもできると気づけた。
- ・今までわりと敬遠していたものに真正面からぶつかってわかる楽しさを見つけられた。



事後レポート (note)



自分だけの問いに出会う～高校生プログラムin豊島～

■開催日	2026年3月28日(土)
■開催時間	9時15分～15時45分
■対象	高校1年生～3年生
■参加者数	3名

スケジュール

9:15	集合・オリエンテーション@家浦港
9:40	徒歩移動
10:00	針工場・対話型鑑賞
10:30	針工場・自由鑑賞
10:50	車移動
11:10	豊島美術館
11:50	車移動
12:00	昼食@島キッチン
13:00	車移動
13:10	棚田・豊島美術館
13:50	車移動
14:00	心臓音のアーカイブ
14:30	車移動
15:00	ラップアップ@家浦港
15:45	終了

参加者からのコメント

- ・対話型鑑賞を通して、自分が思っていたのとはまた違う視点で見ている人の意見を聞いて、見方は一つだけじゃないんだと気づけました。自分で考えていることを他の人と共有することで、また新たな視点が生まれるんだなと思いました。
- ・水という概念としては一緒でも何か普通とは違う条件が付くことによって、その水としての在り方が変わるということが気になって、その気になったことからモノの在り方を変えるのは何なんだろうという問いを立てることができた。

事後レポート (note)



BASN 対話型鑑賞フォーラム Vol.3

～ビジネスパーソンと対話型鑑賞～

■日時	2025年11月5日(水) 13:00～16:00
■場所	東京都渋谷アクシュ 17階(ビズリーチオフィス内研修室)
■参加者	43名
■登壇者	・中野信子氏 (脳科学者/医学博士/認知科学者 東日本国際大学教授/京都芸術大学客員教授/森美術館理事) ・友部博教氏 (ビズリーチ WorkTech 研究所 所長) ・岡崎新太郎氏 (三菱地所株式会社) ・吉岡良氏 (台湾三井不動産) ・秋岡美奈子氏(ベネッセコーポレーション) ・福武英明 (公益財団法人 福武財団 理事長/株式会社ベネッセホールディングス取締役会長) ・藤原綾乃 (公益財団法人 福武財団)



第1部：企業研修での活用

第1部では、ベネッセアートサイト直島の研修プログラムについてのご紹介、ビズリーチ WorkTeck 研究所によるビジネス界におけるアート鑑賞の重要性の考察と、過去の実践例の中から、三菱地所、三井不動産、ベネッセコーポレーションの3社の具体的な実践例とその効果について発表し、パネルディスカッションを行いました。

第2部：ビジネスパーソンへの効果

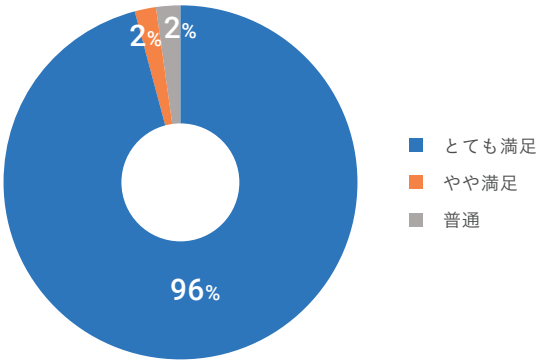
後半はビジネスパーソン個人に焦点をあて、中野信子氏による基調講演と、ビズリーチ WorkTeck 研究所 友部所長、弊財団理事長 福武英明を交えた鼎談により、アートに触れることの必要性や、日常生活の中でのアートの活用について議論しました。

事後レポート (note)

フォーラム記録動画
(ダイジェスト版)フォーラム記録動画
(フルバージョン)

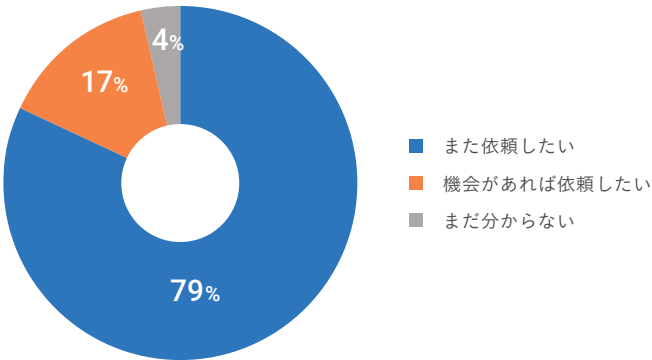
2025年度 教育プログラム アンケートデータ (N=48)

■プログラム満足度



- ・同僚の思考の癖や、こだわりなどを知ることができ、業務のなかでの関わり方を改めて考えるきっかけとなった。
- ・参加者同士の対話を促すような問いかけやサポートをいただけたことがとてもありがたかったです。対話型鑑賞、問いのワークなどはもちろんのこと、自由鑑賞の時間などにおいても、考えることができるような声掛け・サポートや対話がしやすい環境を整えていただけて、メンバー同士で普段は話さないような気持ちや考えを知る場面も多かったと感じています。
- ・生徒は自由な発想で時間をかけて作品と対峙ができていました。また、そのことにより「分からない」作品をどのように「見る」ことができるのか主体的に考察する姿勢が身に着けられました。アートに触れただけでなく、アートの鑑賞が自分事として認知できたことは何よりも成果だと考えています。

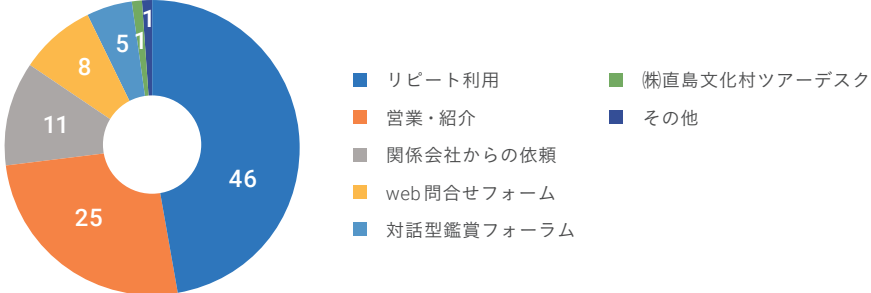
■リピート意向



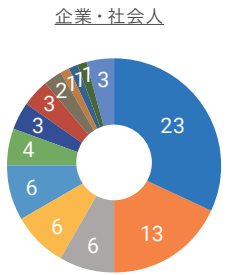
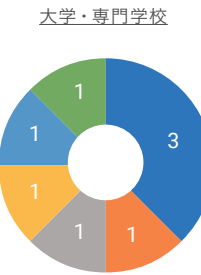
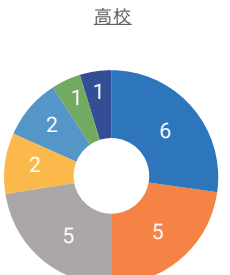
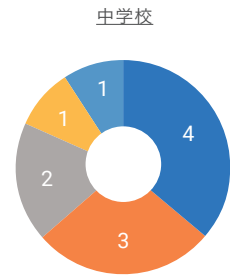
- ・唯一無二の研修プログラムであり、日常業務を離れ、感性を研ぎ澄まし、他者と交流しながら、視野の広がりや新たな視点に気づくなど、いわゆる座学の研修では得られない価値が大きいです。
- 研修内で対話を大切にするからこそ、メンバーはもちろん、その時の気持ちや状況など、様々な要素によって出てくるものが違うため何度でも繰り返し受けることで、新たな発見が得られる機会だと思ったため。
- ・思考を深める・思いを公開する、といった訓練ができるプログラムを他に知らない。また、直島という非日常空間もチームビルディングには効果的だと考えています。

2025年度 教育プログラム 問い合わせデータ

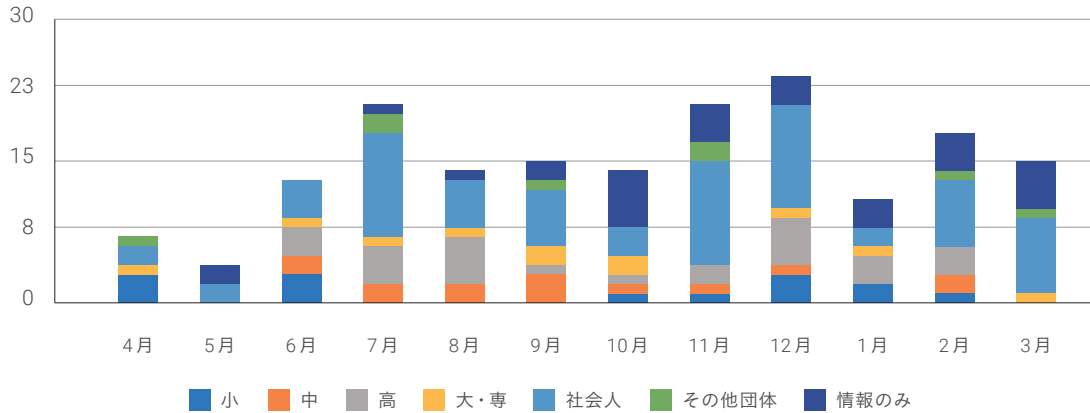
■認知経路 (キャンセル案件を含む、地元の学校案件は含まない)



■属性ごとの問い合わせテーマ別割合

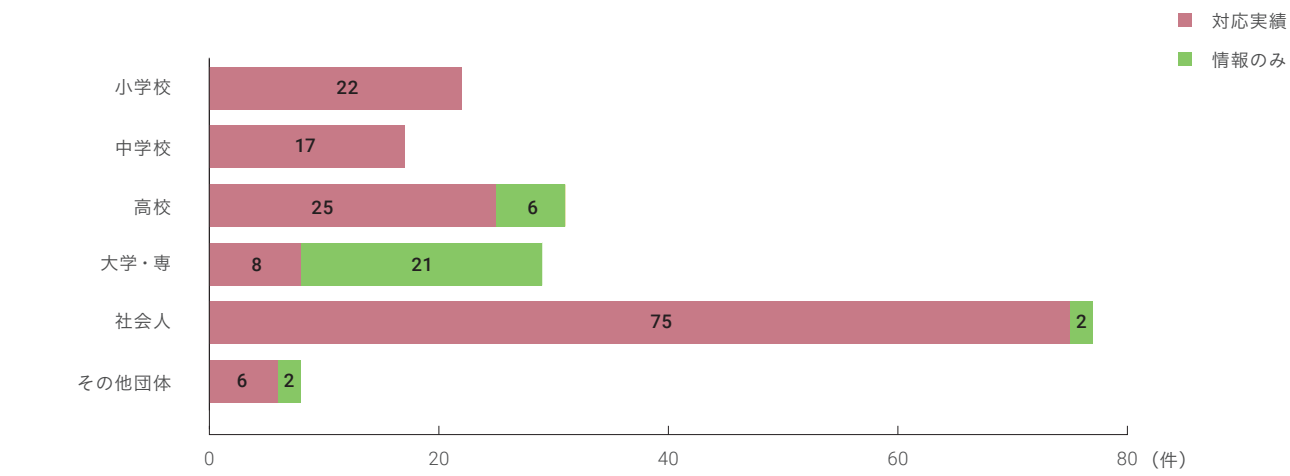


■属性別実施件数推移

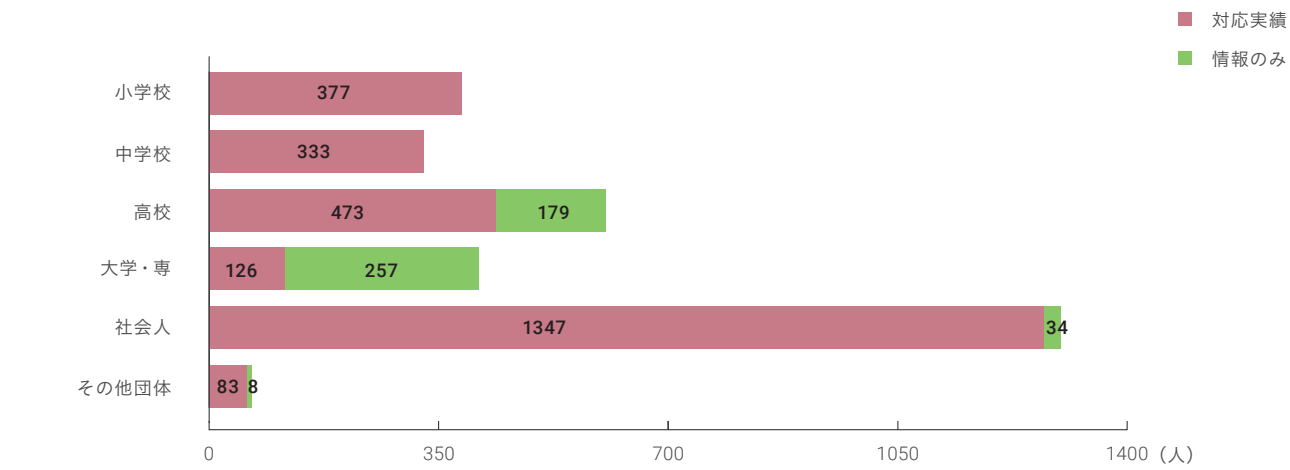


2025年度 教育プログラム 実績データ

■2025年度実績（件数）



■2025年度実績（人数）



■教育プログラム リピート数

2025年度リピート団体数	
社会人	14件
大学・専門学校	4件
高校	7件
中学校	5件
小学校	4件
その他団体	3件
合計	37件

※過去にもプログラム利用があった
学校などの団体数